

令和 5 年度の取組

令和 5 年 8 月 1 日

岡山県環境文化部環境管理課

1 事業の意図と内容

関係者の自発的な取組を促しPM2.5の排出を抑制

事業の意図

稲わらの有効利用

メリットを伝えて野焼きを減少



PM2.5の低減、住みやすい岡山

【目標】

PM2.5環境基準達成率**85%**
(令和4～6年度)

事業内容 (R4～R6)

(1) 県・市・JA等関係団体連携推進会議
(課題解決に向けた協議、情報交換)

(2) 大気環境改善普及啓発事業
(チラシ等、広報媒体、農業団体での講習会による啓発)

(3) 稲わら有効利用促進事業
(すき込み時に必要な稲わら分解促進剤の購入補助)

(4) 稲わら有効活用把握事業
(衛星写真による稲わらの野焼き状況の調査)

農業関係の行政・民間団体と協力して事業を実施

稲わらの有効利用（土づくりに活用）等を啓発

目的

稲わらの有効利用による土づくりを推進
(野焼きからの転換を促す)

取組可能な方から**実践**

ナッジの考えを取り入れ
(ヒトの行動をそっと後押し)

進め方

環境部局と農業関係者の
連携が必須





**稲わら等有効利用連携
推進会議**の設置

稲わらの有効利用（土づくりに活用）等を啓発

重点啓発

特に啓発が必要な地域で重点的に啓発
[対象地域] 岡山市、早島町、倉敷市

- **チラシ**：野焼きからすき込みへの転換を促すチラシの作成（リニューアル）
 **JA広報誌に折り込み**
- **グッズ**：啓発グッズの配布（R4～）
- **動画**：啓発動画を制作（R4）
 **JA等の講習会などで活用（R5～）**

一般啓発

野焼きによるPM2.5の濃度上昇など
一般的な広報
[対象地域] 県内全域

- **新聞**：新聞広告
- **ラジオ**：ラジオCM
- **テレビ**：笑味ちゃん天気予報

など

稲わら分解促進剤の購入を支援（補助）

目的

稲わらのすき込み時に散布する
分解促進剤の購入費を補助し、
稲わらの野焼きから有効利用
への転換を**支援**

・ 秋に**PM2.5濃度が上昇**
しやすい地域を対象

岡山市南区 (R2～)

早島町 (R2～)

倉敷市茶屋町周辺地域 (R4～)

補助内容

[対象者] 岡山市南区、早島町、
倉敷市茶屋町周辺地域
内の圃場に水稻の作付
を行った農家

[補助金額] 購入費の**1/2** 又は補助
対象土地の面積**1㎡あたり**
2.4円 (上限)

[対象品目] **石灰窒素**など

[申請期間] 令和5年**9月～12月**

[窓口] 県庁 環境管理課

※これまでの申請者に補助開始の案内送付

県南の主な地域で稲わらの野焼き率を調査

目的

稲わらの処理状況の現状を客観的に把握

【調査地域】

岡山市、早島町、倉敷市、総社市、瀬戸内市



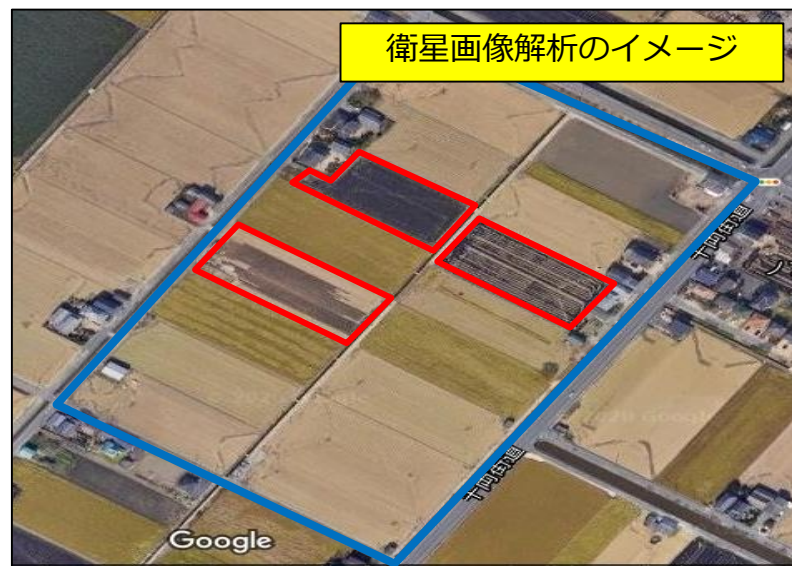
**地域別の特徴や
経年変化を把握**

(今後の事業展開に活用)

方法

野焼きされた圃場を衛星画像で判定

【調査時期】 R5(2023)年 11月頃



4 その他

畜産部局との連携

目的

稲わらの飼料化による有効利用
の可能性について情報収集を行う



飼料化するためにロールにされた稲わら

方法

畜産部局と連携するなどして情報
収集

稲わらの有効利用法の
1つとして情報収集

4 その他

農家へのヒアリング・すき込み促進に資する情報収集

目的

- ・ 稲わらの野焼き低減に向けた事業が農家の取り組み可能なものとなるよう、事業の方向性について、ヒアリングを実施
- ・ すき込みのさらなる促進を図るための情報収集

方法

- ・ 普及指導センターの普及指導員とともに訪問・ヒアリングを実施
- ・ すき込み促進に資する情報としては、各農家におけるすき込み方法等の情報を収集し、整理

今後の事業に活用

5 今後の展開

稲わらの有効利用を定着させる必要

有効利用によるメリット等の訴求が重要

- ・ 動画を活用した啓発
- ・ 大気環境の改善に貢献
- ・ すき込み以外の利用（畜産飼料など）

様々な方面からの啓発が有効であり、
関係者の皆さまの協力・取組も得なが
ら有効利用の定着へ！